



新型コロナウイルス感染症の拡大を見据えた 現場起点の医療体制「神奈川モデル」について

2020/3/25（水）

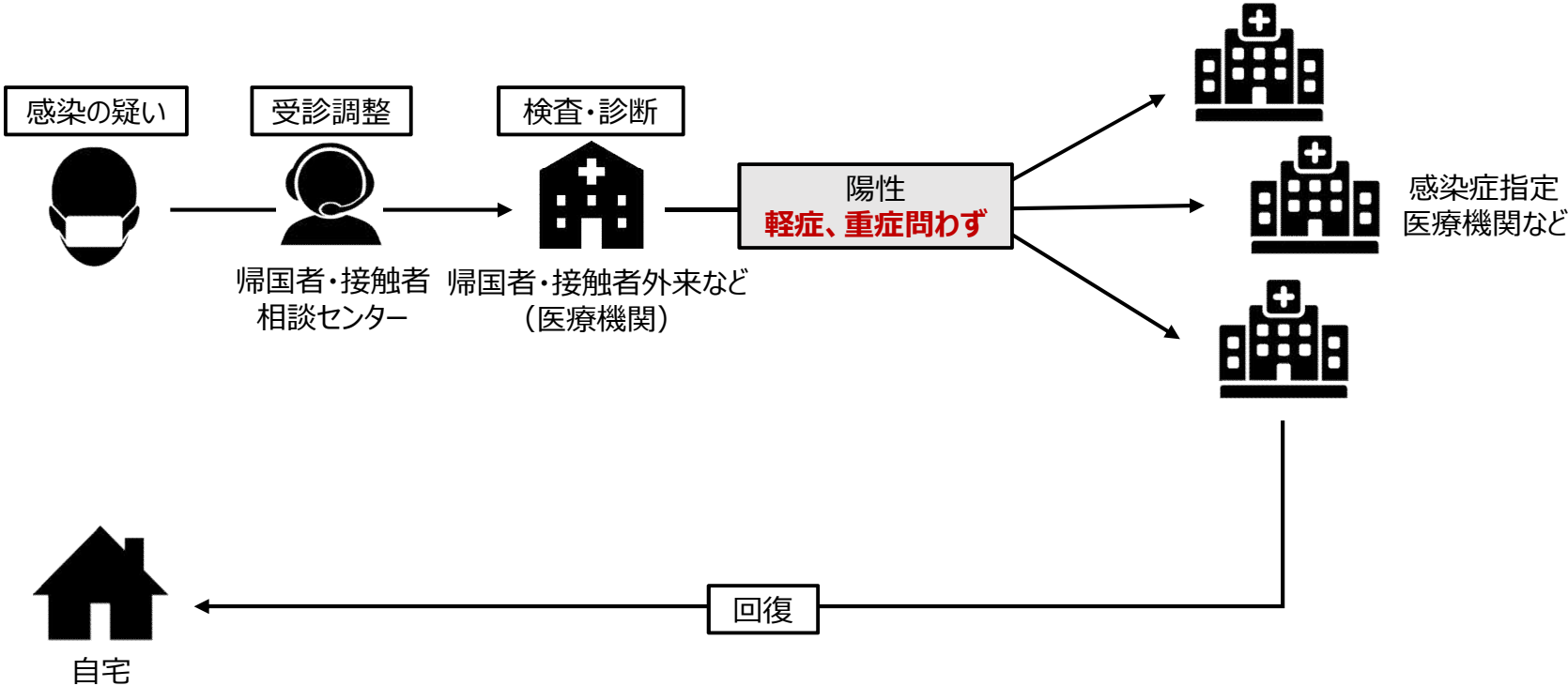
フェーズの捉え方

	フェーズ0 現在	フェーズ1 移行期	フェーズ2 蔓延期
重症患者数	~20人 (6人*)	20~100人	100~300人
中等症患者数	~100人 (27人※1、※2)	100人~500人	500人~2500人
新型コロナウイルス感染症 医療体制	感染症指定医療機関	高度医療機関 重点医療機関 (軽症者の自宅・宿泊施設療養)	高度医療機関 拡充 重点医療機関 拡充 軽症者の自宅・宿泊施設療養
他の医療体制	平時医療継続	一部医療の抑制	一部医療抑制の継続・拡大

※1 3月17日時点

※2 軽症も含む

現状の受診・入院フロー



各医療機関の位置付け

重症
人工呼吸/ECMO



救命救急センター等
高度急性期・急性期病院

中等症
酸素投与 + α



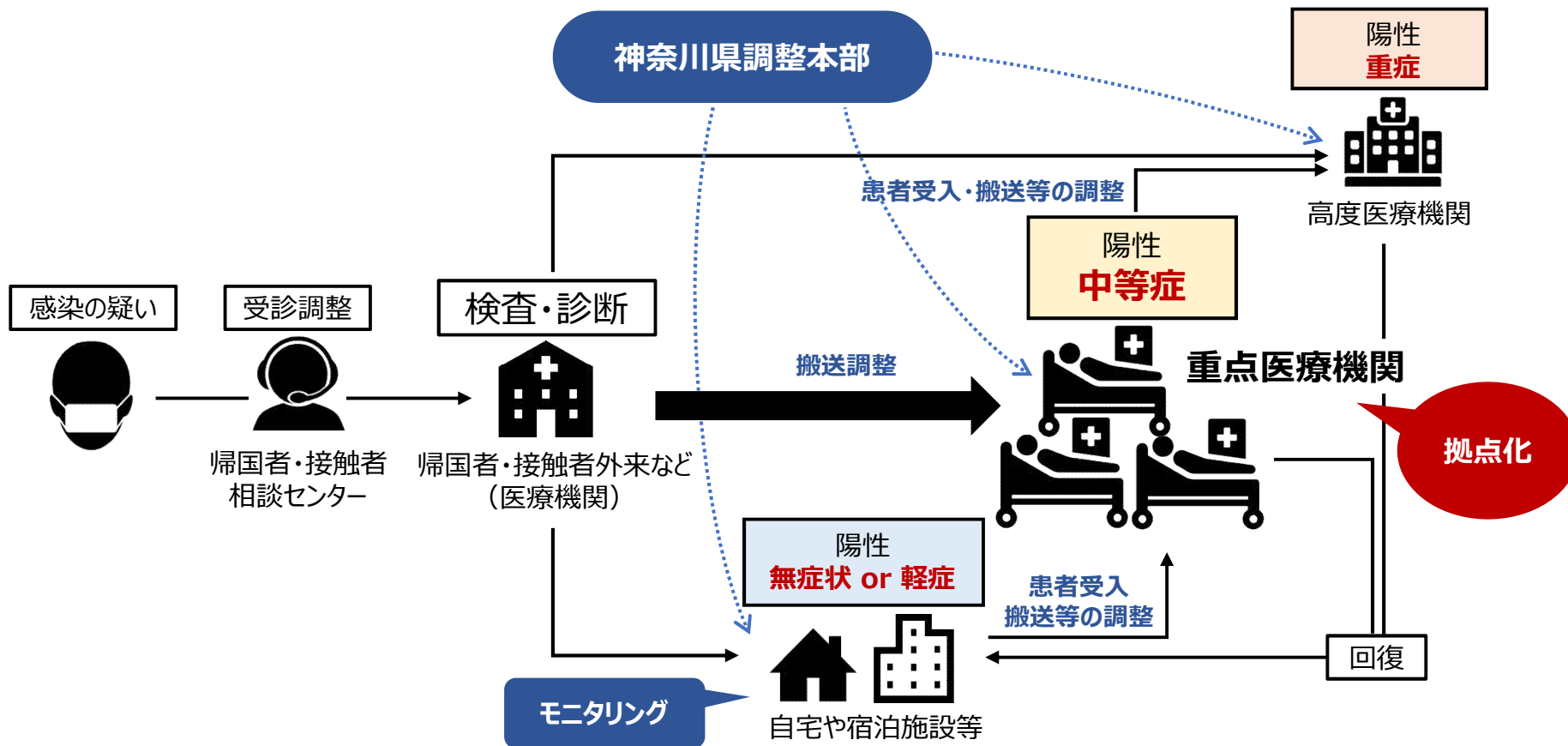
重点医療機関

無症状・軽症
酸素投与不要



自宅・宿泊施設等

移行期・蔓延期の緊急医療体制「神奈川モデル」



フェーズに対応した病床確保

	フェーズ0 現在	フェーズ1 移行期	フェーズ2 蔓延期
重症患者数	～20人	20～100人	100～300人
病床確保	-	60～300床	
中等症患者数	～100人	100人～500人	500人～2500人
病床確保	-	240～2500床	
新型コロナウイルス感染症 医療体制	感染症指定医療機関	高度医療機関 重点医療機関 (軽症者の自宅・宿泊施設療養)	高度医療機関 拡充 重点医療機関 拡充 軽症者の自宅・宿泊施設療養
他の医療体制	平時医療継続	一部医療の抑制	一部医療抑制の継続・拡大